

# 平成24年度 高鍋高校OB祭～元(はじまり)～

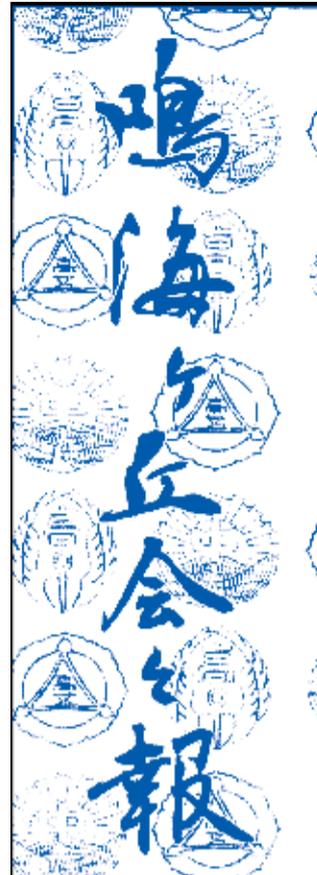
## 8月10日(土) 記念講演

梅原 真氏「だまって買う・祈る・当たる」

三浦雄一郎氏「生きがい～人生の最高峰を目指して」

場所／高鍋中央公民館

# 元 はじまり 故郷から 元氣発信



発行  
宮崎県立高鍋高等学校  
同窓会  
宮崎県児湯郡高鍋町  
大字北高鍋4-2-6-2  
TEL 0983-23-0005  
FAX 0983-23-5096  
URL <http://www.tamigaku.ac.jp/>



うめばら まこと  
**梅原 真 氏**

◎PROFILE  
デザイナー。1950年高知市生まれ。1972年、大学卒業後、高知に戻りRKCプロダクション美術部に入社。日本テレビで研修の後、スタジオの大道具担当に。25歳の時、スペインへ渡り休職。1979年、退職後アメリカ大陸を横断。1980年梅原デザイン事務所設立。一次産業再生をテーマとして全国で活動中。



みうらゆういちろう  
**三浦雄一郎 氏**

◎PROFILE  
プロスキーヤー、クラーク記念国際高等学校校長。1932年青森市に生まれる。北海道大学獣医学部卒業後、1964年イタリア・キロメーターランセに日本人として初めて参加、時速172.084キロの当時の世界新記録樹立。アドベンチャー・スキーヤーとしてだけでなく、クラーク記念国際高等学校の校長として、また行動する知性派として国際的に活躍中。

### OB祭日程

◆平成24年8月10日(金)

7:30～ ゴルフコンペ  
会場：宮崎座論梅G.C

◆平成24年8月11日(土)

10:00～11:30

鳴海ヶ丘会総会

会場：高鍋町中央公民館研修室

OB祭記念講演

会場：高鍋町中央公民館ホール

12:30～

12:30～

13:00～

15:00～

15:30～

18:00～

①第1部オープニングイベント

②講演 講師：梅原 真 氏  
演題 「だまって買う・祈る・当たる」

①第2部オープニングイベント

②講演 講師：三浦 雄一郎 氏  
演題 「生きがい～人生の最高峰を目指して」

懇親会 / 会場：ホテル四季亭

主 催：鳴海ヶ丘会（宮崎県立高鍋高等学校同窓会）

主 管：平成24年度高鍋高校OB祭実行委員会（平成元年卒）

後 援：高鍋町

### 【実行委員会】

役 職	氏 名
実行委員長	野 崎 正 史
事業推進局長	大 塚 祥 一
事業運営局長	緒 方 直 樹
販売部会長	杉 田 輝 美
広報部会長	谷 講 平
企画・運営部会長	河 野 英 樹
ゴルフ部会長	芥 田 賢 治
懇親会部会長	永 友 優 一

### 【事務局】

役 職	氏 名
事務局 長	松 浦 郁 雄
会計部 会長	安 井 克 津 枝
総務部 会長	亀 井 友 美
クラス役員部会長	細 山 美 樹

【お問い合わせ先】実行委員会事務局 松浦 TEL090-7984-9447

【ホームページ】<http://h01takanabe.web.fc2.com/>

平成二十四年度高鍋高校OB祭実行委員会を代表してご挨拶申し上げます。私たちは、昨年7月より実行委員会の準備を始め、「元(はじまり)故郷から元氣発信」を本年度OB祭のテーマに掲げ、これまで一生懸命、活動を進めてまいりました。鳴海ヶ丘会員の皆様をはじめ、高鍋高校関係者の皆様、地域の皆様の温かいご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。今回、高鍋高校OB祭の企画・運営を、私たち平成元年卒業生が担当させて頂いたとき、私たち同窓生同士はもちろん、県内外OBの方々と年代を超えたつながりも深めることができ、本当に素晴らしい機会を与えていただいたと感謝いたします。また、昭和から続くこの良き伝統と情熱のタスキを、最初の平成卒業生の私たちが、今後も平成卒業の後輩たちに、上手につなげていかなければならないと責任も感じています。

近年、児湯地域を中心に発生した口蹄疫や、宮崎県内にさらなる被害をもたらした鳥インフルエ



平成24年度高鍋高校 OB祭実行委員会 実行委員長 野崎 正史

## 平成24年度高鍋高校OB祭の開催について

ンザや新燃岳の噴火、そして東日本大震災や経済不況など、私たちの地域をはじめ日本全体が苦しんでいると感じています。私たちがOB祭を通じて、微力ではございますが、地域を盛り上げ、日本全国の皆様に元氣を発信したいと考えております。

今年度のOB祭は、ゴルフコンペをはじめ、お二方の記念講演を企画いたしました。お一方は、梅原真氏、高知出身のデザイナーで、田舎の土地に埋もれた価値を見つけて出し、デザイン力によって見事にプラスに転じさせてきた「一次産業再生」の仕掛け人です。きっと、私たちの地域を元気にするヒントを与えてくれるお話が聞けると思っています。もう一方は、三浦雄一郎氏、七〇歳代で世界最高峰エベレスト山に登頂し、八〇歳になられた現在でも現役のプロスキーヤーという、まさしく、「元氣」というものな方です。きっと、その元氣力の秘訣をお話いただけると思っています。また、記念講演前のオープニングイベントとして「花ふぶき一座」「高鍋しんかんちや」が出演し、元氣を発信してくれそうです。ぜひ、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

(長友 隆志)

高鍋高校卒業し、12年が経ちました。教職を仕事とするなら、母校で勤務したいと、大学の頃から希望していました。その夢が叶った今年度は、二日一日が喜びであり、今この学舎で再び生徒たちと汗を流し、勉学、部活動に励むことができることを心から感謝しています。私が鍋校生だった頃は、今と変わらず、朝課外から放課後の部活動が終了するまで、絶えず学生と職員の間で、絶えず学生と職員の間で元氣な声が校内に響いていたのを覚えています。仲間と切磋琢磨しながら、学習面でも部活動面でも自分の限界に挑戦できた貴重な3年間でした。校内を歩くと、高鍋時代の出来事が鮮明に思い出されます。現在の高鍋高校も12年前と変わらず、勉強、部活動に活気が溢れ、生徒、職員ともに元氣のある高校です。教師と生徒の活気のある授業が展開され、放課後はその活気が部活動に変わり、生徒、職員ともに充実した学校生活を送っていると感じます。また休日にも各部活動が活発に活動し、挨拶をして、笑顔の耐えない学舎です。時代や社会が変化しても、普遍的に流れるその歴史と伝統を感じられることは、まさに高鍋高校が伝統を守りながらも、発展を続けているということであると、私自身、卒業生として、これまで高鍋高校が築いてきた伝統を継承しつつ、また新たな時代へ向かってさらなる発展に貢献できるよう、努力していきたいと思っております。高鍋高校生にはこれまでの卒業生、職員、地域の方が育ててきた高鍋の地で3年間勉強、部活動に大いに励み、ときに苦しいこともありますが、自分の力を信じ、仲間の支えの中で大きく成長してほしいと思っております。この先の10年後も、また、それ以降も高鍋高校が変わらずこの地で多くの高校生を見守れる場所になれるよう、高鍋高校のために少しでも力になればと思います。

同窓会の皆様へ



校長

首藤 忠一

同窓会「鳴海ヶ丘会」会員の皆様方には、日頃より本校発展のために多大なご支援・ご協力を賜り、心より篤くお礼申し上げます。

私、本年四月に赴任しました首藤忠一と申します。よろしくお願いたします。

本校は、伝統的教育理念を根幹に据え、知を学び、徳を学び、心身の鍛錬に努め、社会に貢献する生徒の育成を目指すという教育目標を掲げ、「学力向上・進路実現」「基本的生活習慣の確立」「文武両道の推進」「保護者や地域に信頼される学校」という四つの重点目標を設定し、「生徒の可能性を最大限に伸ばす高鍋高等学校」をスローガンとして、地域の信頼・期待・ニーズに応えるべく取り組んでいます。

特に進路の実現には、昨年度からOBの皆様のご協力も得ながら、キャリア教育の充実を図っており、進路目標を明確にして進路実現に取り組めるよう進めているところです。

本校は今年創立九十周年を迎えます。よき伝統を継承しながら、さらなる発展を遂げるべく職員が一丸となって様々な教育活動

「魅力ある高鍋高校づくり」を考える会

6月11日(月)に鳴海ヶ丘会館にて、第6回「魅力ある高鍋高校づくり」を考える会が開催されました。今回は高鍋町内の教育行政担当者や小中学校の先生方を含めた14名が参加しました。最初に、学校の概要説明や本校教師が中学校に出向いて授業を行う「出前授業」等の取組状況が報告されました。

次に「キャリア教育」とお話し魅力ある高鍋高校をつくるには「テーマ」に協議がなされることになりました。協議の中で「小中高の連携が大切である。」という意見が多く出されました。また、「高鍋町内で小学生から高校生が運営に参加できる行事を企画して欲しい」「ボラン

出席者名簿 敬称略
高鍋町教育委員会 黒水日出夫
高鍋東小学校 矢野健二
高鍋西小学校 児野秀孝
高鍋東中学校 満行田秀文
同窓会 会長 増澤悦子
同窓会 副会長 丹多賀清和
同窓会 顧問 小泉桂一
同窓会 PTA 会長 首藤忠一
高鍋高校 校長 松下律子
高鍋高校 教頭 川越淳一
高鍋高校 広報部 主任 大田原勉
同窓会 事務局 長 猪股司

動に取り組んでまいりますので、これまでと変わらぬご支援の程をお願い申し上げます。
今夏も同窓会の伝統行事である恒例の高鍋高校OB祭が近づいてまいりました。今年も平成元年卒業の会員の方々が実行委員となり、「二元(はじまり)」故郷から元気発信」というテーマで開催されます。記念講演は、デザイナーの梅原真氏による「だまって買う・祈る・当てる」と八十歳で現役プロスキーヤーの三浦雄一郎氏による「生きがい」と人生の最高峰を目指して」という二本立てです。そして盛大な懇親会も企画されており、OB祭を通して年代を超えた会員皆様の親睦と交流が一層深まり、「鳴海ヶ丘会」のより一層の充実・発展が図られることと思っています。

最後になりましたが、OB祭実行委員の皆様のご尽力に感謝申し上げますとともに、高鍋高校同窓会「鳴海ヶ丘会」の益々のご発展と会員の皆様のご健勝ご活躍をご祈念申し上げます。
つといたします。

平成24年度 高鍋高校OB職員

高鍋高校管理職

Table with 3 columns: 役職, 氏名, 在職期間. Includes Principal Mitsunori Mitsuda and other staff.

高鍋高校OB職員一覧

Table with 10 columns: 氏名, 卒業年, 主な校務分掌, 部活動, 教科. Lists various former staff members and their roles.

明倫奨学金について 平成24年度「明倫奨学金」奨学生は戴押 大地君(広島大学経済学部へ進学)に決定いたしました。おめでとうございます。

平成23年度 同窓会費収支決算書

収入金額 3,915,717円
支出金額 3,645,128円
繰越金額 270,589円

Income and Expense Statement table with columns for 費目, 予算額, 決算額, 増減, 摘要. Includes sub-sections for 収入の部 and 支出の部.

平成24年度 鳴海ヶ丘会 事業計画(案)

H24. 6. 23
宮崎県立高鍋高等学校同窓会

Business Plan table with columns for 日付, 事業内容. Lists various events and meetings for the fiscal year.

(収支) 3,915,717円 - 3,645,128円 = 270,589円 (繰越金額)

# ボート同好会

ボート競技は日本ではあまり馴染みの薄いスポーツです。発祥は欧州地域だと言われています。腕だけが強くなるイメージがあるかもしれませんが、ボート競技は全身を駆使します。脚・体幹・腕と全身で両手に持った二本のオールを一人もしくは複数でひたすら「漕ぐ」という同じ動作を繰り返してスピードを競うこの競技は体験した人しかその爽快感は味わえません。スポーツはどの種目も素晴らしい魅力を持っており、ボート競技もその中の一つだと思えます。他の競技に比べて特殊なのは「水の上」という事です。似たような種目でカヌー競技やヨット競技があります。その中でも最速のスピードが出せるボート競技は単純な動作を繰り返しますが、それが難しく変わった魅力のある競技です。そして進行方向は後ろ向きで自分たちが進む方向は見えていません。選手(ボートの場合はクルーと表現)は自分が漕いで来た艇の軌跡を頼りに自分が行くべき方向を判断します。全力で後ろ向きに進む競技はボート以外には存在しないと思います。朝靄や夕日の中水面を滑るように進めるようなればボート競技本来の魅力を体験できます。ボート競技、宜しく願います。

高鍋高校ボート同好会監督

柴田 友輔



## 平成24年度 出身中学校別生徒数

出身市町村	出身中学校	普通科						生活情報科						計		総計
		1年		2年		3年		1年		2年		3年		男	女	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
高鍋町	高鍋東	19	22	16	17	31	14	1	9	1	2		4	68	68	136
	高鍋西	20	12	26	19	21	9	1	8		3	1	8	69	59	128
	計	39	34	42	36	52	23	2	17	1	5	1	12	137	127	264
新富町	富田	17	6	24	10	10	9	1	2		4			52	31	83
	新田	3	4	4	3	10	2		1		1		1	17	12	29
	上新田	4	6	5	7	6	2		3				2	15	20	35
	計	24	16	33	20	26	13	1	6	0	5	0	3	84	63	147
木城町	木城	9	9	5	5	8	5		1		5		1	22	26	48
川南町	国光原	5	10	2	5	9	8		3		6	1	6	17	38	55
	唐瀬原	12	12	8	14	16	12		4		4		3	36	49	85
	計	17	22	10	19	25	20	0	7	0	10	1	9	53	87	140
都農町	都農	4	7	9	7	12	11		2		2		1	25	30	55
	美津	1	2	2	2	1	1				1		1	4	7	11
	富島			1			1	1					2	1	3	
	東郷					1							1	0	1	
	財光寺												0	0	0	
	日向			1									1	0	1	
	計	1	2	4	2	2	2	1	0	0	1	0	1	8	8	16
西都市	穂北		1			1			1					1	2	3
	三納				2		1		1					0	4	4
	三財				2		1				3		1	0	7	7
	妻	2		3		2	1		1				7	2	9	
	計	2	1	3	4	3	3	0	3	0	3	0	1	8	15	23
西米良村	西米良													0	0	0
宮崎市	久峰	2	4	7	1	5	2				4		2	14	13	27
	広瀬	2	4		2		2		1		1		2	2	12	14
	大宮	1	1		1	1						1		3	2	5
	住吉	2	2	1		2							5	2	7	
	穂東	2		2		1							5	0	5	
	宮崎北	1		1									2	0	2	
	宮崎大	1		4									5	0	5	
	佐土原			4	2	3							7	2	9	
	田野	1											1	0	1	
	赤江	1											1	0	1	
	青島		1										0	1	1	
	宮崎西		1										0	1	1	
	日向学院			1									1	0	1	
	宮崎日大				1								0	1	1	
	計	13	13	20	7	13	4	0	1	0	5	1	4	47	34	81
県北	西階										1			0	1	1
	西門川										1			0	1	1
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2
都城市	祝吉			1										1	0	1
県南	大東	1												1	0	1
県外		1				2	1							3	1	4
旧学区外中学校		17	14	26	11	19	9	1	4	0	10	1	5	64	53	117
総計		111	104	127	100	143	82	4	37	1	38	3	32	389	393	782
		215		227		225		41		39		35		782		782

## 3年間の合格状況

学校	平成21年度			平成22年度			平成23年度		
	現	卒	計	現	卒	計	現	卒	計
国立大学	32	3	35	43	5	48	31	16	47
公立大学	13	1	14	14	1	15	15		15
私立大学	95	9	104	93	4	97	78	15	93
準大・公短	1		1	1		1		2	2
短期大学	41		41	33	1	34	29	1	30
専修学校等	84		84	70		70	75		75
就職	28		28	28		28	33		33
合計	294	13	307	282	11	293	261	34	295

### ○国立大学

大	学	21年度	22年度	23年度	合計	大	学	21年度	22年度	23年度	合計
岩手	1		1	2		九州	1	3		4	
宇都宮		1		1		九州工業		3	3	6	
筑波	1		1			福岡教育		2	3	5	
東京学芸	1		1	2		佐賀		1		1	
富山		1		1		大分	2	5	4	11	
金沢		1		1		熊本	3	2	6	11	
大阪			1	1		宮崎	16	20	16	52	
大阪教育			1	1		鹿児島	2	4	5	11	
兵庫教育	1		1			琉球		1	2	3	
鳥取	2			2		計	35	48	47	130	
広島	1		2	3							
山口	2		1	3							
徳島		1		1							
高知	2	3	1	6							

### ○就職状況

(実数)

内	訳	建設	製造	卸売小売	金融保険	運輸・通信	電気・ガス	サービス	自衛隊	公務員	その他	合計
普通科男	1	1	2					1	6	2		13
普通科女		2		1				2				5
生活情報		2						6				8
計	1	5	2	1	0	0	0	9	6	2	0	26
普通科男								1	9	2	1	13
普通科女			1					1	3		1	6
生活情報			3			2		4				9
計	0	3	1	0	2	0	0	6	12	2	2	28
普通科男		3	1		1			1	10			16
普通科女								1	2		1	4
生活情報	1	3	1		2			4	1		1	13
計	1	6	2	0	3	0	0	6	13	0	2	33

### ○公立大学

大学	年度	平21	平22	平23	計
釧路公立				1	1
群馬県立県民健康科学	1				1
京都府立	1				1
尾道市立			1	1	2
山口県立	1				1
下関市立	1		1	2	4
北九州市立	3	3	2	8	13
福岡県立			1	1	2
長崎県立			1	2	3
熊本県立				1	1
宮崎公立	4	8	3	15	25
宮崎県立看護	3	3	2	8	13
名桜			1	1	2

### ○短期大学

短大	年度	平21	平22	平23	
鹿児島県立短期大学	1	2			3
大分県立芸術文化短期大学	2	2	2		6
青山学院女子短期大学	1				1
東京農業大学短期大学部				1	1
成美大学短期大学部				1	1
奈良文化女子短期大学				1	1
大阪成蹊短期大学			1		1
創価女子短期大学			1		1
尚綱大学短期大学部				1	1
九州女子短期大学	3				3
香蘭女子短期大学		2	2		4
中村学園大学短期大学部	2		2		4
福岡女子短期大学			1	2	3
上智短期大学	1				1
宮崎学園短期大学	11	17	9		37
南九州短期大学	10	8	7		25
鹿児島女子短期大学	1		1		2

### ○準大学

学校	年度	平21	平22	平23	
防衛大学	1	1	1		3
水産大学				1	1

### ○私立大学

大学	年度	平21	平22	平23	計
國學院	1		1	2	3
東京農大		1	1	2	4
慶應義塾			1	1	2
明治	1				1
法政			1	1	2
立教			1	1	2
中央			1	1	2
学習院	1				1
帝京	1	5	1	7	14
麻布			1	1	2
東京電機大		1			1
関東学院大			1	1	2
国際医療福祉大			1	1	2
神奈川大	2				2
相模女子大	2				2
東海大	1		1	2	4
愛知学院		2			2
立命館	3	2			5
龍谷			1	1	2
近畿		1	3	4	8
関西西学院大	2	1			3
関西学院大			1	1	2
産業医科			1	1	2
福岡岡	5	7	7	19	38
西南学院	2	1	2	5	10
久留米		3	3	6	12
西南女学院	2	1	1	4	7
九州産業	3	3	6	12	21
福岡工業大	2	2	4	8	16
筑紫女学園大			3	3	6
崇城	7	1	1	9	17
九州看護福祉		2	2	4	8
南九州大	9	7	3	19	38
宮崎国際大	1	2		3	6
宮崎産業経営	9	15	5	29	53
九州保健福祉大	10	12	14	36	62
鹿児島国際	1	1		2	4
その他私大	43	28	37	108	216

### ○高専・専門学校

学校	年度	平21	平22	平23	
高専	27	16	15		58
その他の専門学校	57	54	60		171

# 平成24年度高校総体結果一覧

<b>ラグビー</b>	2回戦準決勝 決勝	高鍋 110-0 日向 高鍋 47-0 日向 高鍋 38-7 宮崎北【九州大会出場】	<b>卓球</b>	男子 : 学校対抗戦 1回戦 高鍋 0-3 都城商業 ダブルス 3回戦進出 シングルス 3回戦進出
<b>ホッケー</b>	予選 決勝	高鍋 9-0 門川 高鍋 11-0 門川【九州大会出場】	<b>ソフトテニス</b>	男子 : 団体戦 1回戦敗退 個人戦 5位(尾崎隼梧・山口雅崇) 【九州大会・インターハイ出場】 女子 : 団体戦 1回戦敗退 個人戦 ベスト16(西尾、寺原)
<b>テニス</b>	男子 : 団体戦 女子 : 団体戦 個人戦	2回戦 高鍋 3-0 宮崎北 3回戦 高鍋 1-2 宮崎西 1回戦 高鍋 2-1 都城農業 2回戦 高鍋 1-2 都城泉ヶ丘 シングルス ベスト16(白川) ダブルス 3位入賞(白川・山中)	<b>バドミントン</b>	男子 : 団体戦 ベスト8 ダブルス ベスト16(杉田・米澤) 女子 : 団体戦 ベスト8 ダブルス ベスト8(知久・神田) シングルス ベスト16(知久、神田)
<b>空手</b>	男子 : 団体戦〔形〕 個人戦〔組手〕 女子 : 団体戦〔組手〕 個人戦〔組手〕	3位〔組手〕3位 6位(松本)【九州大会出場】 7位(今岡)【九州大会出場】 2位【九州大会出場】 6位(中嶋)【九州大会出場】 7位(島田)【九州大会出場】	<b>剣道</b>	男子 : 団体戦 ベスト8 個人戦 3回戦進出(松島) 女子 : 団体戦 ベスト8 個人戦 2回戦進出(松下、榎木、久保田、伊藤)
<b>バレー</b>	男子 : 1回戦 2回戦 女子 : 1回戦 2回戦	高鍋 2-1 高千穂 高鍋 0-2 宮崎第一 高鍋 2-0 日南学園 高鍋 1-2 富島	<b>柔道</b>	男子 : 団体戦 予選リーグ敗退 個人戦 ベスト16(篠原、比江島) 女子 : 団体戦 1回戦 高鍋 0-3 小林西 個人戦 ベスト8(甲斐、阿部)
<b>バスケットボール</b>	男子 : 1回戦 2回戦 女子 : 1回戦 2回戦	高鍋 83-53 都農 高鍋 55-78 延岡工業 高鍋 74-57 宮崎北 高鍋 43-70 日章学園	<b>弓道</b>	男子 : 団体戦 ベスト16 個人戦 決勝進出(田爪)
<b>ハンドボール</b>	男子 : 1回戦 女子 : 1回戦	高鍋 24-29 延岡 高鍋 17-25 小林	<b>陸上</b>	男子 : 走高跳 6位(大山和茂)【南九州大会出場】
<b>サッカー</b>	1回戦	高鍋 6-0 都城東 高鍋 7-1 聖心ウルスラ学園 高鍋 1-2 延岡工業(ベスト16)	<b>水泳</b>	男子 : 50m自由形 2位 河野 匠【九州大会出場】 100m自由形 2位 河野 匠【九州大会出場】 女子 : 200m個人メドレー 6位 中野優花 400m個人メドレー 2位 中野優花【九州大会出場】 100mバタフライ 5位 中武 玲【九州大会出場】 200mバタフライ 3位 中武 玲【九州大会出場】
<b>ボート</b>	女子 : ダブルスカル	2位(オープン参加)	<b>野球</b>	第59回県選手権・第19回NHK杯 県央地区代表、県大会出場

## 九州高校総体結果

<b>【ホッケー部】</b>	<b>【書道部】</b>
高鍋 1-0 森(大分)	第30回県高等学校席上揮毫大会 参加校26校、257名
高鍋 0-5 小国(熊本)	団体の部 第4位
高鍋 0-3 川棚(長崎)	個人の部 1年 第3位 恵利 芽衣 第4位 高橋 佳大 第4位 佐藤 菜々美 第4位 佐光 千沙 優秀賞 富山 綾音 優秀賞 島之内 亜巳
<b>【ラグビー部】</b>	2年 優秀賞 林 宏樹 優秀賞 黒木 美波 3年 優秀賞 吉岡 美佐子 優秀賞 河野 眞里奈
高鍋 12-31 舞鶴(大分)	



### 九州大会を終えて

女子ホッケー部 猪股 部長

6月15日(金)から4日間、全九州高等学校総合体育大会ホッケー競技大会が佐賀県伊万里市で開催されました。先ず2パートに分かれて予選を行いました。高鍋高校は、森高校(大分)と小国高校(熊本)との対戦で、1回戦は森高校に0-5、2回戦は小国高校に0-3と敗戦しました。結果はBパート3位となり、予選リーグ敗退でした。インターハイ連続出場記録もストップしました。

### 九州大会を終え

高鍋高校ラグビー部 山本 巧 監督

昨年の勢いをそのままに1月の県新人戦に優勝したものの、九州大会では体格の差を埋めきれず惜敗。その後も県外のチームには自分たちの力が通用せず、時間をかけて体づくりを努めてきました。県の高校総体では苦戦はしなかったものの、試合中に修正する能力が身に付き連覇を果たしました。今度こそはと意気込んで臨んだ九州大会。相手は九州の雄、大分舞鶴高校。豪雨の中でゲーム、なかなか思い通りの展開には持ち込めませんでした。前半7-10で折り返し、後半へ。平均体重で15kg近く差があるFWが奮闘するもその後じわじわと差が広がって12-31で敗戦。まだまだ力不足を感じたものの、最後の悔し涙は大きな収穫となりました。たくさんの方の支えや声援のおかげで悪コンディションの中でも思いきりプレー出来ました。深く感謝するとともに、更なるパワーアップを図り、夏の再戦、そして全国大会へとつなげていきたいと思っております。ありがとうございました。

### 席上揮毫大会を終えて

書道部 顧問 長友 瑞枝

六月に行われた県高校席上揮毫大会で団体4位、個人の部でも多数入賞者を出すことができました。この大会は、当日に漢詩の問題が出された半切大(掛け軸大)の作品に二時間程度で仕上げられるものです。体育館いっぱいに、リズムを取りながら床に這いつくばって黙々と紙に向かう姿には気魄を感じます。書道部の高校総体と言われる所以です。大会上位入賞を目指して平日はもろろん土、日もずっと練習を重ねてきた全員で勝ち取った結果です。

昨年赴任してきて部員も当初の二倍以上に増え、現在22名で活動しています。七月には県代表として九州大会にも出場します。この勢いでさらに元気のある鍋高書道部を目指したいと思います。

## 第59回 NHK杯 高校放送コンテスト結果

部 門	順位	氏 名・作 品 名
研 究 発 表	1 位	「番組制作技術の向上」 代表 林 龍己
ラジオドキュメント	3 位	「貫く勇気」 代表 津江 裕子



作品も原稿も締め切りギリギリに仕上がりました。取りかかると遅かったため、編集も完璧にできず上位に残れるか不安でした。結果は3位となんとか全国大会の出場権を得ることができました。練習も直し、聞き取りやすくなり、番組制作のスキルも向上しました。今回の発表を通して、自分が大きく成長したと感じています。全国大会でもよいプレゼンをしてきます。

ラジオドキュメント部門 「貫く勇気」第3位 津江 裕子

研究発表部門 「番組制作技術の向上」第1位 林 龍己